

平成 1 7 年度事業報告書

平成 1 7 年 4 月 1 日から平成 1 8 年 3 月 3 1 日まで

特定非営利活動法人日本 I D D M ネットワーク

1 事業の成果

創立 1 0 周年を迎え、当会設立の契機となった大規模災害時の I D D M 患者の支援という課題への取り組みに行政（三重県庁）、医療関係者、製薬企業、防災専門 N P O 等と協働して着手し、本年度は支援者向けのチラシ及び患者自身のマニュアル（案）を作成した。

西高東低という当ネットワークの課題を踏まえ、1 0 周年記念全国フォーラム及び同プレイベントを東京都で開催し、関東圏を中心に患者・家族、医療関係者等に最新の医療情報等を提供できた。

スタンフォード大学が開発したセルフマネジメントプログラムについては、日本慢性疾患セルフマネジメント協会の発足に協力し、日本での当プログラム普及が始まるに至った。

「1 型糖尿病 [I D D M] お役立ちマニュアル P a r t 1（改訂版）」及び「同 P a r t 2」を作成し、患者・家族のみならず、行政、医療機関等からも注文があり、患者・家族のケアに貢献できた。

この他、1 型糖尿病について、地道な努力を重ねておられる研究者や研究団体に対し研究費の助成を行うことにより、発症原因の解明や治療法の確立等を図るため「1 型糖尿病研究基金」を創設するとともに、ネットワークの拡大・支援、各種情報の収集・提供、政策提言、研究協力、関係団体との連携、1 型糖尿病の啓発、療育相談、メールマガジンの発行等を通して、I D D M に関する様々な課題の克服に努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

〔定款事業名〕 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲 及び人数	支出額 (千円)
〔関係団体との連携〕 ネットワークの拡大・支援	個人への対応を重点に取り組んだ。 また、東北、九州の2地区で1型糖尿病患者・家族交流会を開催した。	通年 10月1日 12月11日	三和 加柳 仙台市 長崎市	2人	患者及びその家族等 60000人	19
〔政策提言〕 〔関係団体との連携〕 情報収集提供 ・政策提言	児童福祉法改正（小児慢性特定疾患治療研究事業見直し）後の地方自治体の取り組み状況や20歳以上の支援策実現に向けての情報収集に取り組んだ。 膵島移植の高度先進医療や免疫抑制剤の早期承認に向けて取り組んだ。 全国難病センター研究会に参加し、大規模災害時の対応についての情報収集・提供を行った。 その他、日本糖尿病学会、日本糖尿病教育・看護学会学術集会、先進インスリン療法研究会、全国ヤングDMカンファレンス、チャレンジフォーラムinSAGA等に参加し、情報収集・提供を行った。	通年	札幌市 仙台市 東京都 神戸市 松山市 福岡市 佐賀市外	5人	患者及びその家族等 60000人	595
〔調査研究〕 〔普及啓発〕 〔療育指導〕 〔政策提言〕 〔関係団体との連携〕 調査研究	①1型糖尿病患者・家族等に必要情報を網羅した「1型糖尿病〔IDDM〕お役立ちマニュアルPart1（改訂版）」を3000部、及び「1型糖尿病〔IDDM〕お役立ちマニュアルPart2」を7000部作成し、全国各地に配布した。 ②災害時におけるIDDM患者の行動・支援指針作成及び啓発を防災専門NPO、三重県、製薬企業、医療関係者等と協働して取り組んだ。 ③スタンフォード大学が開発した「セルフマネジメントプログラム」の日本導入に向けて日本慢性疾患セルフマネジメント協会発足等に取り組んだ。 ④京都大学医学部附属病院移植外科の膵島移植チームの医師と立ち上げた「膵島移植研究会」で、免疫抑制剤等の課題に取り組んだ。	通年	東京都 安城市 津市 京都市 大阪市 岡山市 佐賀市外	12人	患者及びその家族等 60000人	4479

〔定款事業名〕 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲 及び人数	支出額 (千円)
〔調査研究〕 〔普及啓発〕 〔療育指導〕 〔政策提言〕 〔関係団体との連携〕 調 査 研 究	⑤以下の調査・研究に協力を行った。 ・「1型糖尿病を持つ女性がリプロダクティブ・ヘルス（性と妊娠・出産に関する健康）に対するセルフケア能力を高めることができるプログラム」の作成（主任研究者：田中佳代久留米大学医学部看護学科母性看護学助手） ・「1型糖尿病の子どもの食生活に関する母親の意識」（大山真貴子東京女子医科大学大学院看護学研究科） ・「継続して医療的ケアを必要とする人の就業を支える地域支援システムの課題に関する調査」（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター） ・「保健医療施設検討の場における患者代表のあり方に関するアンケート」（東京大学医療政策人材養成講座）					
〔普及啓発〕 〔療育指導〕 シンポジウム ・患者家族交流会	①「1型糖尿病患者のためのセルフマネジメント」 講師：京野文代セルフマネジメントプログラムマスタートレーナー ②「1型糖尿病と無自覚性低血糖について考える」 ・ミニライブ&トーク HANZO氏 ・講演「無自覚性低血糖について」平尾紘一HECサイエンスクリニック所長 ・HANZOさん、平尾先生と話そう！ ③「インスリンユーザーもうひとつの選択肢ーインスリンポンプ（CSII）のことちゃんと知っておこう！」 ・「インスリンポンプ療法：その効用、他のインスリン療法との比較～ポンプ療法の現状と今後の可能性～」 講師：川村智行大阪市立大学大学院発達小児医学教室医師 ・「インスリンポンプを使用してー血糖コントロールの良否・QOLの向上感・装着感など良い点と問題点ー」 発表：インスリンポンプユーザー	5月21日 7月23日 11月19日	虎ノ門パストラル（東京都） 恵比寿スバルビル（東京都） FORUM8（東京都）	9人 8人 15人	患者及びその家族等 84人 患者及びその家族等 62人 患者及びその家族等 96人	6054

[定款事業名] 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲 及び人数	支出額 (千円)
[普及啓発] [療育指導] シンポジウム ・患者家族交流会	④1型糖尿病を考える全国フォーラム -患者・家族の未来に向けた多様な 選択肢- ○シンポジウム ・「1型糖尿病を取り巻く環境と日本I DDMネットワークの取り組み」 井上龍夫日本IDDMネットワーク 理事長 ・「夢をおいかけて」 大村詠一エアロビックスユース世界 チャンピオン ・「1型糖尿病の最新インスリン療法に ついて-ポンプ療法を中心に-」 川村智行大阪市立大学大学院発達小 児医学教室医師 ・「ビデオメッセージ」 岩田稔2005年プロ野球阪神タイガースドラフ ト希望枠指名 ・「さあセルフマネジメントを始めよう!」 伊藤雅治日本慢性疾患セルフマネジメント協 会理事長ほか2名 ・「膵島移植-1型糖尿病根治へのロー トマップ-」 松本慎一京都大学医学部附属病院膵 島移植チームリーダー&移植患者 ・「チャレンジ精神を持って生きる」 ジョンギェスライトツリー クライミングRシャバン代表 ・「ミニライブ-夢をつかむまで!」 HANZO 癒しとユーモアのバラ ード歌手 ○ワークショップ ・第1分科会 「より良いコミュニケーションのため に語り合おう-患者の気持ち・医療 者の気持ち-」 ・第2分科会 「かんたん!カーボカウント-炭水化 物で決めよう!インスリン-」	1月28日 ~29日	明治大学 アカデ ミーホー ル 飯田橋レ インボ ーヒール (東京都)	29人	患者及びその家族等 926人	

〔定款事業名〕 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲 及び人数	支出額 (千円)
〔普及啓発〕 〔療育指導〕 シンポジウム ・患者家族交流会	・第3分科会 「学校関係者と家族のための1型糖尿病教室」 ・第4分科会 「大災害、その時あなたはどうかする?! -災害時の行動指針と支援-」					
〔関係団体との連携〕 関係団体との連携	ヘルスケア関連団体ワークショップ等への参加を通して、よりよい医療のあり方等について検討を行った。	通年	東京都外	3人	患者及びその家族等 60000人	24
〔普及啓発〕 普及啓発	読売新聞、朝日新聞、糖尿病ケア、看護学雑誌等の取材等を通して、1型糖尿病についての社会的理解を求めた。	通年	東京都 安城市 佐賀市外	3人	患者及びその家族等 60000人	0
〔療育指導〕 療育相談	電子メール、電話、会員用メールマガジンを、電子掲示板等を通して、様々な相談に対応した。	通年	茨木市 佐賀市 熊本市外	6人	患者及びその家族等 25238人	82
〔普及啓発〕 〔療育指導〕 会報発行	会員の情報交換のため、メールマガジンを4回(第4号、第5号、第6号、第7号)発行した。	4月30日 7月10日 10月22日 2月15日	佐倉市 三和町外	5人	患者及びその家族等 12000人	70
〔調査研究〕 1型糖尿病 研究基金 (特別会計)	1型糖尿病について、地道な努力を重ねておられる研究者や研究団体に対し、研究費の助成を行うことにより、発症原因の解明や治療法の確立等を図るため、基金を設立し、募金活動を行った。	8月 ～ 3月	東京都外	6人	患者及びその家族等 60000人	807

(2) その他の事業 該当なし

平成17年度財産目録

平成18年3月31日現在
 特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
 (単位:円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	139,520	
普通預金	(一般会計)	2,774,319	
普通預金	(特別会計)	1,033,988	
普通預金		0	
郵便貯金		459,563	
郵便貯金		47,279	
未収会費		0	
未収入金		296,260	
流動資産合計			4,750,929
2 固定資産			
固定資産合計			0
資 産 合 計			4,750,929
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金		372,392	
前 受 金		5,600	
短期借入金		0	
流動負債合計			377,992
2 固定負債			
固定負債合計			0
負 債 合 計			377,992
正 味 財 産			4,372,937

平成17年度貸借対照表総括表

平成18年3月31日現在
 特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
 (単位:円)

科 目	合 計	一般会計	1型糖尿病研究 基金特別会計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,454,669	3,420,681	1,033,988
未収会費	0	0	0
未収入金	296,260	296,260	0
流動資産合計	4,750,929	3,716,941	1,033,988
2 固定資産	0		
固定資産合計	0	0	0
資 産 合 計	4,750,929	3,716,941	1,033,988
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	372,392	372,392	0
前 受 金	5,600	5,600	0
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	377,992	377,992	0
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	377,992	377,992	0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	4,820,136	4,820,136	0
当期正味財産増加額	-447,199	-1,481,187	1,033,988
正味財産合計	4,372,937	3,338,949	1,033,988
負債及び正味財産合計	4,750,929	3,716,941	1,033,988

平成17年度収支計算書総括表

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	1型糖尿病研究 基金特別会計	備 考
I 収入の部				
1 会費収入	742,600	742,600	0	
・正会員会費収入	330,000	330,000	0	
・賛助会員会費収入	85,000	85,000	0	
・その他の会員会費収入	327,600	327,600	0	
2 寄付金収入	7,333,232	6,292,280	1,040,952	
・一般寄付金収入	6,292,280	6,292,280	0	
・1型糖尿病研究基金寄付金収入	1,040,952	0	1,040,952	
3 助成金等収入	4,944,860	4,944,860	0	
・委託料収入	946,260	946,260	0	
・助成金収入	500,000	500,000	0	
・負担金収入	3,498,600	3,498,600	0	
4 繰入金収入	800,000	0	800,000	
・一般会計繰入金収入	800,000	0	800,000	
5 雑収入	47,032	47,031	1	
・受取利息	32	31	1	
・雑収入	47,000	47,000	0	
当期収入合計(A)	13,867,724	12,026,771	1,840,953	
前期繰越収支差額	4,822,936	4,822,936	0	
収入合計(B)	18,690,660	16,849,707	1,840,953	
II 支出の部				
1 事業費	11,319,541	11,319,541	0	
・ネットワークの拡大・支援	18,423	18,423	0	
・情報収集提供・政策提言	594,720	594,720	0	
・調査研究	4,478,618	4,478,618	0	
・シンポジウム・患者家族交流会	6,053,428	6,053,428	0	
・関係団体との連携	23,400	23,400	0	
・普及啓発	0	0	0	
・療育相談	81,152	81,152	0	
・会報発行	69,800	69,800	0	
・1型糖尿病研究助成金	0	0	0	
2 管理運営費	2,192,582	1,385,617	806,965	
・人件費	0	0	0	
・管理費	2,192,582	1,385,617	806,965	
3 繰入金支出	800,000	800,000	0	
・1型糖尿病研究基金特別会計繰入金支出	800,000	800,000	0	
4 予備費	0	0	0	
・予備費	0	0	0	
当期支出合計(C)	14,312,123	13,505,158	806,965	
当期収支差額(A)－(C)	-444,399	-1,478,387	1,033,988	
次期繰越収支差額(B)－(C)	4,378,537	3,344,549	1,033,988	

前事業年度の役員名簿

平成１７年４月１日から平成１８年３月３１日まで

特定非営利活動法人日本ＩＤＤＭネットワーク

役名	氏 名	住所又は居所	就 任 期 間	報酬を受 けた期間
理事	井上 龍夫	愛知県安城市	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし
理事	能勢 謙介	東京都品川区	１７年４月１日～ １７年５月２１日	該当なし
理事	岩永 幸三	佐賀県佐賀市	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし
理事	陶山えつ子	熊本県玉名郡和水町	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし
理事	塩沼 正人	宮城県名取市	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし
理事	手塚 裕子	千葉県佐倉市	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし
理事	三部 庫造	富山県砺波市	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし
理事	松宮さとり	三重県いなべ市	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし
理事	加藤 茂康	大阪府茨木市	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし
理事	宮崎ますみ	大阪府富田林市	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし
理事	堀尾 拓之	兵庫県伊丹市	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし
理事	小川 典之	広島県尾道市	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし
監事	沖升 正則	長崎県長崎市	１７年４月１日～ １８年３月３１日	該当なし

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

平成18年3月31日現在

特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

名 称	住 所 又 は 居 所
け や き の 会	宮城県名取市
千 葉 つ ぼ み の 会	千葉県佐倉市
特定非営利活動法人補食の会	富山県砺波市
つぼみの会愛知・岐阜	愛知県安城市
大 阪 く る み の 会	大阪府茨木市
大 阪 杉 の 子 会	大阪府大阪市阿倍野区
広 島 も み じ の 会	広島県広島市南区
特定非営利活動法人DMユース佐賀	佐賀県佐賀市駅前中央一丁目8番32号iスクエアビル3階市民活動プラザ内
D M 風 の 会	熊本県玉名郡和水町
堀 尾 拓 之	兵庫県伊丹市